

プロポーザル審査基準

評価軸	審査対象内容	評価基準	
業務実施体制等	1 業務実施方針	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の目的、条件、内容を深く理解しているか。 ・業務に対する取り組み意欲が強く感じられるか。 	
	2 業務実績	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの業務遂行実績から業務完了までの迅速かつ確実な遂行能力が認められるか。 ・過去の業務遂行で大きなトラブルがないなど、信頼に足る実績と認められるか。 	
	3 業務実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・業務実施体制は適切かつ効果的であり、迅速かつ確実な業務遂行が可能と認められるか。 ・協力企業がある場合、当該企業の選定は妥当か。 	
	4 業務実施担当予定者	<ul style="list-style-type: none"> ・福井県嶺南地域の事情に精通し、かつ文化芸術に関する専門性を有しているか。 ・これまでの業務遂行実績から業務完了までの迅速かつ確実な遂行能力が認められるか。 	
	5 工程	<ul style="list-style-type: none"> ・計画策定から完了までの工程の考え方は妥当か。 ・作業工程の途上で発生することが予想される課題と対応方針について、これまでの業務遂行実績を踏まえて具体的に述べており、かつ、その内容は適切か。 	
想定業務および独自企画に関する提案	計画原案作成業務		
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・コンセプト、名称、キャッチコピー 	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマに基づいたコンセプト、コンセプトを端的に表す親しみやすい名称・キャッチコピーが考えられているか。
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的なプログラム内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・クリエイティブ人材と嶺南地域の地域資源をかけた内容となっているか。 ・クリエイティブ人材の活用方法に工夫はあるか。 ・交流人口・関係人口を増加させる工夫はあるか。 ・実現性はあるか。
	地域資源調査		
	8	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ 	<ul style="list-style-type: none"> ワークショップの企画および運営にあたり、下記事項に十分配慮されているか。 ・これまでの業務遂行実績を活かした基本的な実施方針が述べられているか ・参加者が楽しく対話・交流しながら考えを深めることのできる工夫はあるか。 ・参加者の地域への関心が高まる工夫はあるか。 ・地域の魅力を引き出す内容および手法がとられているか。 ・会場の選定基準（交通アクセス、参加者属性、料金等）は適切か。 ・事務処理方法および管理体制（個人情報保護対策含む）は適切か。
	9	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの作成から集計までの方法は妥当か。 ・回答数を得るための工夫はあるか。
	10	事業実施場所調査	<ul style="list-style-type: none"> ・想定事業を行う候補地等の調査にあたり、その内容および方法は妥当か。
	11	独自企画	<ul style="list-style-type: none"> ・自然、伝統文化、特産物など福井県嶺南地域の地域資源の新たな魅力を創出する内容となっているか。 ・企画内容に実現性があるか。
	計画周知業務		
	12	シンポジウム	<ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウムの開催補助にあたり、集客するための工夫、広報等は適切か。 ・円滑に運営できるような配慮がなされているか。
役割分担および見積価格	13	連携体制の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・提案者のノウハウや知識、これまでの経験を活かした県、市町、ディレクターチームとの連携の工夫を考えられているか。
	14	見積価格	<ul style="list-style-type: none"> ・見積価格およびその積算根拠は妥当であり、費用対効果が大きいと認められるか。 ・経費節減を図るための工夫や配慮について、これまでの業務遂行実績を踏まえ、具体的かつ実現可能な方法を明確に述べているか。